

1

スイッチを押すと次々に 基板からケムリが!?

橋本 紀和

● 新製品をめぐる密かな楽しみ

自分の設計した製品が世に出るのは、いつのときも嬉しいものです。

無線機の新製品の設計に1年近くかかり、量産までの間に起きたいくつかの問題をクリア、週末には少ないながらも出荷ができ、やっとのことで一段落…(図1)。初めて使ってみたユーザの反応と、販売員の対応をこっそり横から見るのも設計者の密かな楽しみです。

● 緊急事態発生…社長の自宅へ

休み明け、出社するなり大きな騒ぎが待っていました。量産担当の責任者とともに社長の自宅に呼びつけられたのです。あわてて生産中の数台を抱え、社長宅へ駆けつけました。

実は、社長は新製品を自ら最初に使ってみたいと気がすまないのですが、今回はそのタイミングを失っていました。待ちかねた社長は最終検査の済んだ新製品を抜き取って持ち帰り、休日の間に自宅で使ってみたのです。

社長宅にあった無線機は、確かに受信部がほとんど動作せず、ものすごく感度が悪いものでした。「どうせこの1台の初期不良だろう、どんな出荷検査をしているんだ」などと思いつつ別量の産機と交換…なのに、すぐに同じ症状になってしまいました。「えっ、

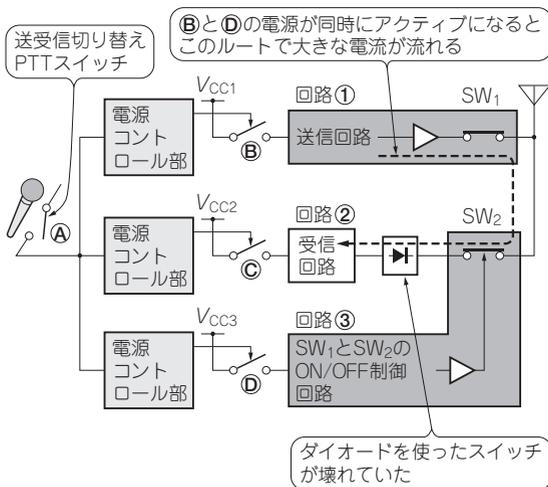


図1 新製品の無線機の各回路への電源供給…まさかあのように恐ろしいことになるとは…